

# 奈良県の経済動向の概要(令和2年10月)

別紙

統計分析課

## 奈良県の主要経済指標の動き(対前年同月比)

指標名	消費		生産	投資
	百貨店・スーパー 販売額【全店】	新車販売台数	鉱工業生産指数	新設住宅着工戸数
6月	▲	▲	▲	▲
7月	▲	▲	▲	▲
8月	▲	▲	▲	▲
9月		▲		
最新月の動き	0.9% 2か月ぶりの増加	▲17.4% 12か月連続の減少	▲6.5%【前月比】 3か月ぶりの低下	▲15.0% 5か月連続の減少

指標名	投資	金融	雇用	
	建築着工床面積	国内銀行貸出残高	有効求人倍率 【就業地別】	新規求人倍率 【就業地別】
6月	▲	▲	▲	▲
7月	▲	▲	▲	▲
8月	▲	▲	▲	▲
最新月の動き	3か月後方移動平均 6か月連続の減少	6.1% 5か月連続の増加	▲0.01ポイント【前月比】 8か月連続の減少	0.37ポイント【前月比】 3か月ぶりの増加

▲	上昇	→	横ばい	▲	低下
---	----	---	-----	---	----

## (参考)各機関の景気基調判断(総括)

	前回公表分	最新公表分
奈良財務事務所 「奈良県内経済情勢報告」	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が抑制されるなか、足下で急速に下押しされており、極めて厳しい状況にある。【4月公表分】	県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。【7月公表分】
内閣府 「地域経済動向」【近畿】	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。【5月公表分】	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】
近畿経済産業局 「管内経済動向」	低迷しているものの、一部に持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】	厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。【10月公表分】
日本銀行大阪支店 「関西金融経済動向」	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】	関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状態にあるが、足もとでは、持ち直しの動きがみられる。【10月公表分】
内閣府 「月例経済報告」【全国】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。【8月公表分】	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。【9月公表分】